

残念乍ら減少したクラブもあります。また、6月末になると例年多くの退会者がです。

IMで、是非、会員の皆さんがロータリアンになって良かったと思える活動・クラブ運営の追求、並びに、結果として退会者極少化、及び価値観を分ち合う仲間の輪の拡大に向け、皆で知識と知恵を出し合ってください。ロータリーでは、入会間もない会員も、また、会員歴20年、30年の会員も平等です。本日の機会を通じ、多くの仲間と友好を深めると共に、ガバナー公式訪問で多くのクラブから提起された「元気なクラブ作り」、「会員増強」等の課題について、胸襟を開いて話し合っただけだと幸いです。最後になりますが、本日のIMを企画・手配・運営されたガバナー補佐を始めとする関係者の皆様のご努力に深謝すると共に、本日のIMが実りあるものとなるよう祈念申し上げます。

### ■ IMに想うこと 第3分区Aガバナー補佐 卯田惣治郎 (千葉中央 RC)

本日のインターシティミーティング(IM)開催におきましては、各クラブより多数のロータリアンの皆様のご参加を賜り、誠にありがとうございます。

そして、白鳥バスターガバナー、第3分区B金親ガバナー補佐をはじめ、関係者皆様のご協力により開催の運びとなりましたこと、心より感謝申し上げます。

日頃、疎遠になりがちなロータリアンが一同に会して、同じテーマに耳を傾けることに大きな意義を感じております。

江戸から明治へと日本が近代国家の幕開けの150年前、時を同じくして、ポール・ハリスと米山梅吉翁は生を受けました。昨秋のロータリー情報研修会では、ロータリーの創始者ポール・ハリスを、本日のIMでは日本のロータリーに於ける原点でもある米山梅吉翁の足跡を辿りながら、ロータリーの未来について皆様と共に考えることができれば幸いです。

この度、私自身、米山梅吉翁を知るにつけ、大いに感銘と刺激を受けました。(人は社会公衆のために奉仕することがなくては、人として義務を果たしたとは言えぬであろう)信念に裏打ちされた行動をせねばならないと、今、自身の胸に刻んでおります。

米山という言葉のなかには、イコール米山奨学生という認識を持たれる方が多いとは思いますが、IMを通じて今一度、ロータリーの意義を再認識していただければと思います。

本日は盛り沢山の内容ではございますが、皆様方にとりまして記憶に残るIMとなりますようご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



### ■ IMについて 第3分区Bガバナー補佐 金親博榮 (千葉南 RC)

IM(Intercity Meeting)の目的には、会員相互の親睦を通して、奉仕の機会を増やすという意味があります。第3分区は、2つの分区になって以来16年経ちましたが、IMに機会を捉えて、AとBの分区を超え、旧知の方々、そして新しい方々が一堂に会することに意義ありとして、地区内では唯一、2分区合同にて開催することとなりました。

また、今年度は、ジョンF・ジャームR1会長の「人類に奉仕するロータリー」、第2790地区青木貞雄ガバナーの「感謝と挑戦」をテーマとして、地区大会、分区ロータリー情報研修会、ガバナー公式訪問など一貫して、「会員になってよかった」と思えるロータリー作り、そのための、「ロータリーの理解」、「ロータリーの心を学ぶ」活動を実施してまいりました。この流れの仕上げとして、今回のIMを企画したところでございます。

また、ロータリー米山記念奨学会による留学生を迎えての「ホームカミングデイ」として、奉仕の成果を披露していただき、「理論ばかりではない、実践の大切さ」を感じ取る機会になればと考えております。

ロータリーの大きな転換の年度の事業として、「これからのロータリー」についての意見交換の場も設定致しましたので、ご出席の皆様の方々からご発言くださいますよう、宜しく願い申し上げます。

尚、IM開催に際しましては、ご指導下さいました地区ロータリー研修委員会、地区ロータリー米山記念奨学委員会、また、千葉中央RCの方々には、企画立案から細部に至るまでリード頂き、心より感謝申し上げます。

本日は、宜しく願い申し上げます。



### ■ 基調講演 テーマ「米山梅吉翁の足跡を辿り明日のロータリーを想う」

講師 2016-17年度ロータリー研修委員会 R1小委員会 委員 清田浩義 (千葉 RC)

#### 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

日本のロータリーの創設者である米山梅吉翁の偉業を記念して1952年、東京ロータリークラブが奨学事業を呼びかけて「米山基金」を募り、1954年奨学生第1号となる奨学生がタイ国から来日しています。資金は日本のロータリアンからの寄付金を財源として、事業は62年におよんでいます。

今は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、年間の事業費は、14.6億円で奨学生の採用数は約750人を採用し、累計で1万9,197人(2016年4月現在)の奨学生を支援しています。その出身国は

世界119カ国とその地域に及んでいる。日本最大の民間奨学事業となっています。この奨学事業は、奨学金の支援だけでなく、世話クラブによる交流とカウンセラー制度による精神的なバックアップを重視していることに特徴があり、国際理解と交流に大きな効果を上げています。

クラブ単独事業として始まったこの事業は、5年で世界に類をみない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。2007年には日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動となる。



#### 〈生い立ち〉

1867年 11月9日、大政奉還。徳川15代将軍慶喜が政権を朝廷に返上。

11月15日、坂本龍馬暗殺される。

1868年(明治元年) 江戸、芝、田村町に生まれる。

夏目金之助、秋山真之、ポールハリス、正岡子規

